

蛋白尿



WANPUG

子ども達に「**勇氣**、**夢**として**笑顔**」を

たんぱくによ

蛋白尿とは

尿の中に血液中の蛋白が漏れ出ている状態のことです。

正常では、腎臓の働きによって血液中の蛋白は尿中にはごく少量しか排泄されません。

尿中の蛋白が多い場合は、検査や治療が必要になることがあります。

健康でも、姿勢や運動、発熱などの影響で蛋白尿が出る場合があります。



持続する蛋白尿は、腎臓の病気の重要な症状の1つです。

朝一番の尿で
繰り返し蛋白尿
がでるとき

高度の蛋白尿
(尿検査で3+以上)
が出るとき

血尿(尿の中に血液
が混じった状態)を
伴っているとき



詳しい検査が必要です

尿検査



血液検査



画像検査

(エコー検査
など)

などを行います。

入院による検査（じんせいけん腎生検など）が必要になることがあります。



検査で蛋白尿が見つかることは珍しいことではありません。

蛋白尿が見つかった場合は、
定期的に経過を観察し、
必要に応じて詳しい検査を受ける
ことが大事です。



WANPUG



地方独立行政法人 大阪府立病院機構

大阪母子医療センター

＜腎・代謝科＞

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

患者支援センター TEL 0725-56-1220

FAX 0725-56-5605